

岸壁腹付け工対応プレキャスト

## 残置型枠ブロック

型枠をプレキャスト化。  
工期短縮、安全性、施工性、  
省資源化を実現。

震災で崩壊した岸壁の復旧工事では、①工期短縮、②施工性、③安全性が求められます。潜水士の施工の容易さ、波力の検討等、改良を重ねて開発されたのが残置型枠ブロックです。様々な岸壁復旧工事において「腹付け工」のプレキャスト化を実現しました。



### 様々な岸壁に対応

方塊ブロック式、ケーソン式、セルラーブロック式、L型ブロック式、重力式など、幅広い工法の岸壁に対応できます。

### 工期短縮

プレキャスト化で連続施工が可能となり、大幅な工期短縮を実現しました。

### 潜水作業削減

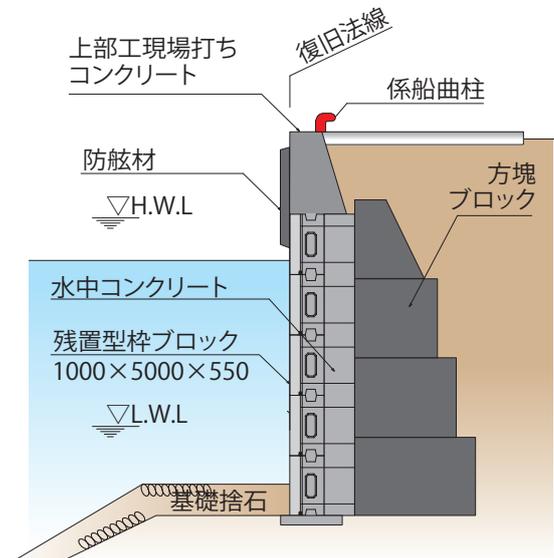
機械化施工のため潜水作業を大幅に削減。シケによる型枠崩壊事故の危険が改善できます。

### 耐久性・耐摩耗性

工場製品であるため、腹付け工表層部を高強度で緻密な高品質コンクリートとすることができ、耐久性、耐摩耗性が向上。

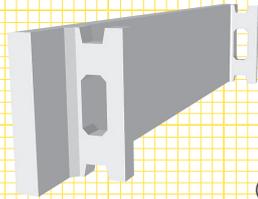
### 省資源化

大型壁型枠工法を使用せず、型枠廃材を削減。省資源化が図れます。



### ■寸法図(例)

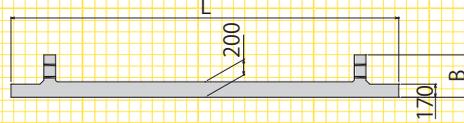
#### 標準 1000×5000×550



(単位:mm)

タイプ	H	L	B	参考重量 (kg)
標準	1000	5000	550	2580

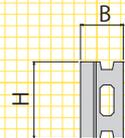
#### 【平面図】



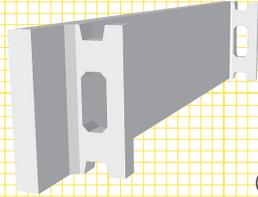
#### 【正面図】



#### 【側面図】



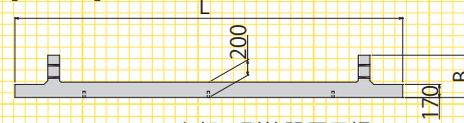
#### 最上段 1000×5000×550



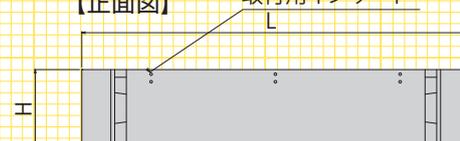
(単位:mm)

タイプ	H	L	B	参考重量 (kg)
最上段	1000	5000	550	2580

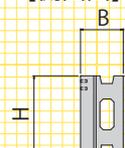
#### 【平面図】



#### 【正面図】

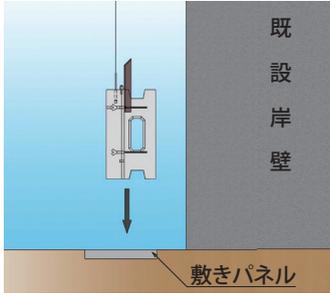


#### 【側面図】

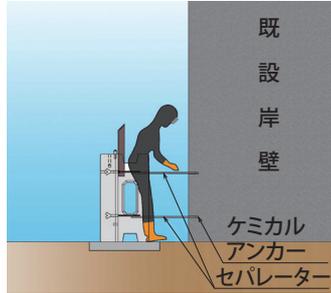


## 施工手順

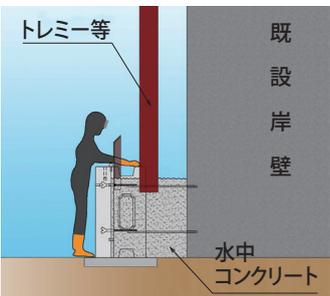
内部作業スペースが幅1m未満の場合(最短70cmまで可能)



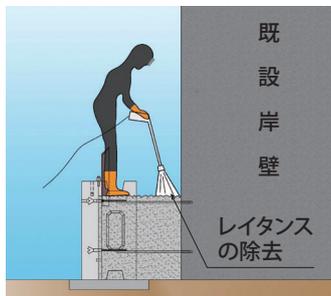
**1** 敷きパネルにより不陸整正を行った後、製品を据付けます。



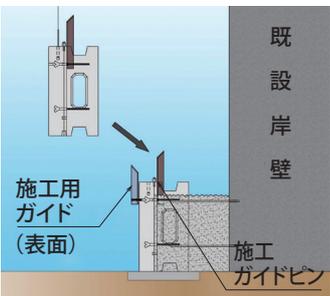
**2** 製品据付後、セパレーターにより固定作業を行います。



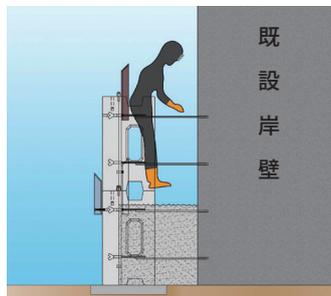
**3** 製品の設置完了後、中詰めコンクリートの打設を行います。



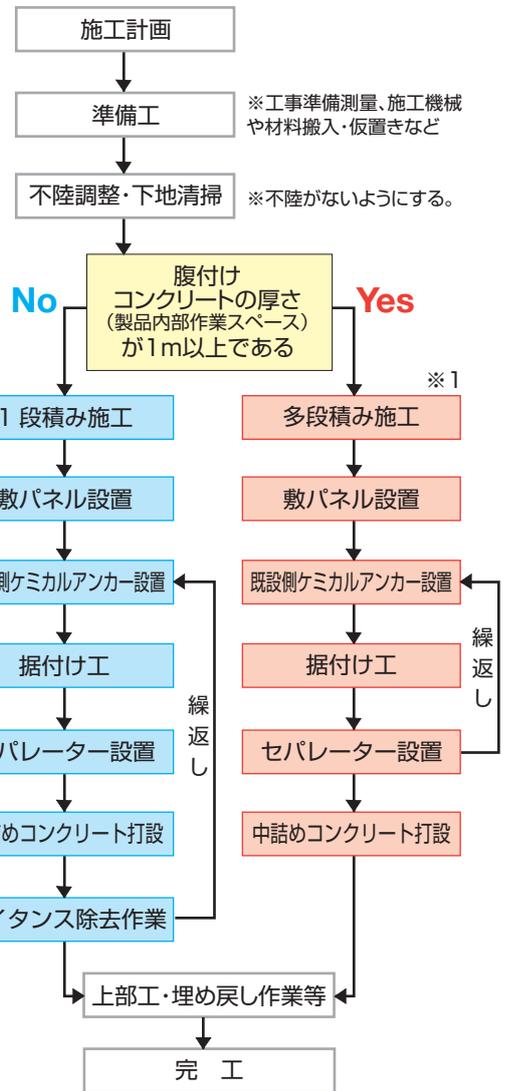
**4** 打ち継ぎ部のレイタンス除去作業を行います。



**5** 上段製品を据付けます。



**6** ②～⑤の作業を繰り返します。



※1: 多段積み後、1度で水中コンクリートを打設できる高さは6m(6段積み)まで。

## 施工例

